

来週の『売り物』、記事はこれ



2016年9月23日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

父の残した「オール」 東京五輪を見据えて

25日(日)



日本勢が大活躍した今夏のリオデジャネイロ・オリンピック。4年後に控える東京大会でのメダル獲得に向け、ボート競技の強化対象になったのが福島県出身で中学3年の礎(いしばし)梨菜さん(15)です。一人漕ぎ「シングルスカル」を得意とし、今年に入って中学生の全国レベルの大会で3度優勝。8月下旬



にあった日本トップクラスの選手も参加したレースでは、実業団選手2人を破って4位に入りました。魅力は粗削りながらパワーあふれる漕ぎ。オールを引く動作を繰り返し、パワーや持久力を測る器具「エルゴメーター」で昨年、15歳以下としては国内過去最高の数値もマークしています。勤務先の高校で脳内出血のため倒れ、33歳で急逝した父の靖彦さんと強豪・明治大ボート部の同級生だった記者が、亡き友をしのびつつ、父から娘に引き継がれた「オール」の物語を描きます。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

小泉今日子さん、上野千鶴子さんが意気投合

反アンチエイジング宣言に共感広がる

夕刊特集ワイド 26日(月)



若づくりをした「美魔女」がもてはやされる昨今の風潮に、人気女優の小泉今日子さんと社会学者の上野千鶴子さんが、敢然と反旗を翻しました。舞台は女性誌の対談。「アンチエイジングって言葉は嫌い」「『若い』と言われて喜ぶのって、違うんじゃない?」——歯切れのよい「宣言」に他の女性誌が注目、ネット上でも共感が広がっています。この現象の意味するものは何なのでしょう。さっそく、アラフォー女性記者が探りました。

リオ五輪 全階級でメダル

堂々復活の日本男子柔道! 井上康生監督に聞く

オピニオン面 [そこが聞きたい] 27日(火)

リオデジャネイロ五輪で、柔道全日本男子は全階級で表彰台(金2、銀1、銅4)に立ちました。史上初めて金メダルゼロだった2012年ロンドン五輪の屈辱を晴らし、20年東京五輪に向けて「お家芸復活」へ弾みをつける成績です。全階級メダルに導いたのが柔道全日本男子の井上康生監督(38)。リオでの戦いの総括と、東京五輪に向けた抱負を聞きました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。



第1日曜日掲載の「達医」では、経験豊富なベテランの医師を「達医」ととらえ、それぞれの専門分野の最新知識や読者に役立つ情報を語っていただきます。

登場するのは、毎日新聞出版が発行する医師向け医学情報誌「MMJ（毎日メディカルジャーナル）」で編集委員会の委員を務める医師たち。1回目はめまいや頭痛の諸症状やパーキンソン病などの神経疾患の診療経験が豊富な岩田誠・東京女子医科大名誉教授です。リレー形式で毎月つないで、多様な話題をお届けします。